

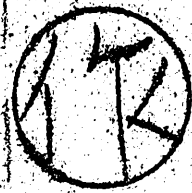
四二三
緊急

受信一九五〇八〇

譯了二一〇四 電一二七六八

昭和廿年四月廿四日
概本〇

● 總無線艦所用共通符號



- 東通・聯合艦隊司令部・横通
- 第三航空艦隊司令部
- 小笠原部隊

機密第二三二一六三〇番電

1240

發 南島島守備部隊指揮官

宛 軍令部次長 參謀次長 横須賀鎮守府司令長官

通報 第十六潜水隊司令

戰國概報（四月二十三日）

一三一一 ○度方向ニ爆音ヲ聴取一三一二編隊機群北ヨリ南へ雲上

ヲ通過ス（本島ヨリ視認セルモノ）二四 五機（一六〇度方向ニ〇

〇米沖海中ニ爆彈投下一三四五 二一〇度方向ニ退去セリ

ニ發射彈數 概算ナシ

一三二二（一〇〇〇）

昭和廿年四月廿五日

二二三 受信二二三二〇 譯了〇一四五 電一二二八八四
二四 譯始〇〇〇九

至 急 符 共

龍華、濟州島、團島各航空基地・九五航空隊・鎮海警備府
一〇三戰隊、青根、旅根

海護總口・支那方面艦隊口・一〇二戰隊、一護衛艦隊口

機密第二三一六四五番電 二分ノ二二

發 第六七號海防艦長

六〇二一航路哨戒中十九日ヨリ二十三日迄ニ得タル特異事項左ノ如シ

一、當黃海方面出現ノ敵潛ハ除内電話ヲシテ二二〇〇K・Cヲ主用シア

ルモノノ如シ（平文數字暗號文混用感度極メテ良好）

二、四號電波探知機受信機敵潛ノ電波ヲシキ波形屢捕捉セリ且其ノ方

向ハ概ネ敵潛出現方位ト一致ス但シ逆探船體波放送波共ニ感度無シ

一、六三二 天二Bケ八（五二〇〇K）佐道 伊藤（金森） (1)

三十九、二十

後暫時聴取セルノシニテ近海感無シ

昨夜急ニ電話感度ナクナリシハ味方機ニ依リ敵潛撃沈（濟州島基地
第二二一九二六番電青島基地第二二二三一六番電關聯）セラレタル
爲 アラスカト思考セラル。

四

二三
四

受信開始
〇〇三
一五〇

了〇一五二

電一
二八
三三
七六

謀
通

昭和廿年四月廿四日

一〇通・高通

大和田通・海南警

第一根

1242

機密第二三一六五四番電

二分ノ一、二

宛 第一南遣艦隊參謀

二十三日西貢來襲敵機ハ左記平文ヲ送信セリ

一、二二一〇VP六A對手基地九L五西貢一一三四爆撃命中率一〇〇パ

セント黒煙全區ヲ覆ヒ高サ七五〇〇呎ニ昇リ各所ニ爆發及火炎ヲ

生ジ邀撃戦闘機ナシ對空砲火熾烈ニシテ正確ナリ被弾二機其ノ他偵

察異常ナシ

三、一二三五GKQ AUSA基地GK三(PY)西貢一一三〇爆撃命中

セズ大火災三邀撃戦闘機ナシ對空砲火稍熾烈ニ對シ不正確被害ナシ

七、一六〇六・一四六〇九 呂100七(六三三五五)100七(六三三五五)100七(六三三五五)

船舶ノ所在ヲ認ム

三一三二〇 H Y C A L O 基地スピツク西部一一三一西貢海軍ドツク
爆撃命中率一〇〇%大火災六ヶ所爆撃數ヶ所。

(H)

八

四
二二四 受信 ○二二一〇 譯了 ○二五八 電一二八八一 作 概



● 一 南 遣 隊 尸
● 大海客一部・海南齋

機密第二三一六五六番電

1243

一 一 二 五 B 一 二 四 二 〇 機 P 一 三 八 八 機 サ イ コ ン 来 製 工 廠 中 心
二 投 彈 せ り

二 被 害 第 百 一 工 作 部 サ イ コ ン 工 場 建 物 約 半 數 破 壞 塗 料 庫 一 棟 焼 失 (機
械 損 害 八 二 割 程 度 ノ 見 込 ナ リ) 船 渠 被 害 ナ シ 其 ノ 他 調 査 中 戦 死 兵
六 名 隊 付 一 名 行 方 不 明 工 員 三 名 重 傷 兵 二 名 工 員 三 名 現 地 人 戦 死 三 八
名

通 一 四 五 九 三 呂 一 〇 七 七 (六 二 三 五 〇) 一 〇 通 中 村 (木 下)

昭和廿年四月廿四日

四二四 受信開始〇〇二一四一 譯了〇三二一 電一二九一九 作 概

至急

共

符



南三陸部隊 海護總口・横領・横防戦▽・南三陸部隊

機密第二三一八一五番電 二分ノ一

1244

昭和廿一年四月廿五日

海防艦天草戰國橋報

〇九三〇金華山衛所ノ二丑度二四週(推測位置水深五〇米)ニ明瞭ナル
反響音ヲ捕捉一〇一五第一回攻撃ヲナシ搜索中湧出油紋ヲ發見一一三八
第二回攻撃ヲオス油ノ湧出盛トナリ一四〇〇頃。

電信課註 本電五分ノ二未着

通一四六六九

天二五々六一六四〇IC(横通)

片山(高橋)



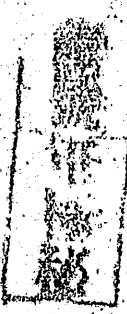
至 急
四 二四
受信〇一五七
譯始〇二四五
譯了〇三一六
電一二九六二
作 概

● 南三陸部隊

● 海上護衛總口・横領・横防戦▽・南三陸部隊

● 共

符



機密第二三一八一五番電 二分ノ二

油帯幅一〇〇差長サ四軒トナリ 數回其ノ直上ニ於テ停止聽音ヲナセル
モ推進器音ヲ聽取シ得ズ 一六四八第三回攻撃後油ノ湧出益盛トナリ湧
出點移動セザルモ尙嚴意監視中投射爆雷二七個。

● 冠信課註
● 海防艦天草
● 本記二分ノ一既配布

一四六七七

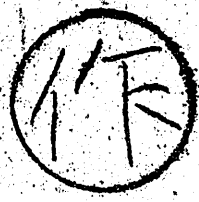
天二日ケ八(一六四〇&O)横須賀

淺沼(金森)

昭和廿年四月廿五日

昭和廿年四月廿五日

四 二四 受信〇三四六 譯始〇四二五 譯了〇五一八 電一二二九〇〇一〇 作 概



● 二二根戰團概報着信繼所

機密第二三一九三〇番電二分ノ二

二五五戰團概報四月二十三日

一三三二〇B一二九 二機 高度五千米ニテバリツクババンニ來襲灣

附近ニテ高度ヲ下ゲツツ「ケツト」爆彈ヲシキモノヲ發射セリハ

發射高度三〇〇〇米一三四〇地上砲火之ヲ東方ニ擊退ス戰果ナシ

一發ハ灣口南方海面ニ落下一發ハB上空ヲ疾走遂ニ北方山中ニ落

下セルモ被害ナシ

三右爆彈ハ消耗爆彈ハバラベンニ類似セルモ前翼稍長ク後翼短ク約

一千キロト思考セラル速力零戦ノ約二倍疾走中ハ煙ヲ吐カズ肉眼ニ

通 一四七〇九

呂一ケ七(六一二二、五四)廿一通

咲花(小林) 吉川(1)

テ明瞭ニ認メ得タリ
四 敵機ハ「ドングラ」ヲ經テ「ハリツクハバン」ニ來襲セル點ヨリ
「モロタイ」ヲ發進セルモノト推察ス。

(2)

四二四
至急 受信〇〇一〇三五
譯始〇〇一二三

譯了〇四〇六 電一二九四三 整作

昭和廿年四月廿五日



● 横防戦
● 東通・横通

● 共

符

機密第二三一九三〇番電

1247

發 女川防備隊司令
通報 横須賀鎮守府參謀長 盛政本部一・三部長 横須賀工廠總務部長
今次ノ三陸方面敵潛掃蕩戰ノ實績ニ鑑ミ左記兵器改装増備方至急御取計
ヲ得度尙工事迅速確實ヲ期スル爲本工事ニ限り各艇逐次横須賀回航ノ上
横須賀工廠ニテ實施ヲ希望ス

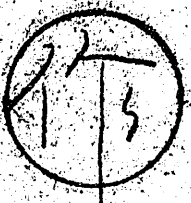
(一) 三式探信儀ニ改装第一號掃海艇新東北丸第六號掃海特務艇第四八號驅
通一四六四五 呂一日ケ七一六四〇KG 横通 仲榮眞(高橋)

潛艇第一六一號驅潛特務艇第一七一號驅潛特務艇第二金剛丸

(二) 二十五號機銃ニ改装又ハ増備第四八號驅潛艇第二金剛丸第一六一號

驅潛特務艇第一七一號驅潛特務艇 盛祥丸第八八號驅潛特務艇第六

六號驅潛艇第一六八號驅潛特務艇 東北船渠ニ於テ施行。



四二四 受信開始 〇〇四二五 譯下 一〇四五 電一五二〇四 作 編

昭和廿年四月廿九日

二二根戰國概報着信處所

二二根サマリソタ派遣隊。二二根ハンジエルマシン派遣隊

二三一 二〇三〇

通報 灘司令部 七州廳長官「ボ」民政部長官

其ノ四

五最近 二五 B 三四ハ最低空 (高度一〇〇米以内) ニテ

爆撃並ニ偵察スルヲ常トシテ五耗機銃ニ於テモ俯角射撃ヲナス状

況ナリ。

「東通註 本電誤字ノ爲遲延セリ」

「電信誤註 本電其ノ一、二三既配布」

通一四七二六 協作 (六一二二五KC) 二一通 原(森 田)

1248

1496

四二四 受信 〇二四〇 譯了 〇六二〇 電 一一二九一二

作 概

昭和廿年四月廿五日



① 二根戰團概報着信艦所

② 二根サマリシダ、パンチエルマシン各派遣隊

一三三一二〇三〇 其ノ六三

第二警備隊戰團概報 (四月二十三日)

一〇九〇八P一三八 六機B一二五 八機北東及北西ヨリ二梯團ニ分

レ侵入飛行場附近、スイケイ附近及棧橋附近「タンク山」特設見張

所「アタク」見張所ヲ銃爆撃一〇一五北方及北東ニ擊退ス

四戰果P一三八 一機墜撃B一二五 一機ニ命中彈ヲ與ヘタルモ效果

不明被害汽船破損 新原地人ニテ重傷二現地人家屋全壊二

通 電信課註 本電其ノ二其ノ四以下未着

一四六九六 編作 (六一二二、五〇) 二一通 大石 (細川)

四二四

緊急

受信 〇〇五一四〇 譯了 〇六五〇 電一二九二九 作概 〇

共

符



十方面艦隊 戸

海上護衛總部隊各戸・聯合艦隊戸・一〇根
一護衛艦隊戸・伊三五一・一五潜水隊

機密第二三二〇四七番電

第六艦隊參謀長

○機密第二〇一一三七番電關聯

寶丸ヲ五月中旬當地着陸定ニテ作戰輸送ニ從事セシメラルル豫定ナル
トコト最近左記狀況至急通知ヲ得度

一 昭南附近松雷敷設（敵味方別）狀況

二 同右敵機飛來（機種、機數、時刻等）狀況

三 敵潛航況

四 機橋給油管狀況（ガソリン重油別）追テ同陸費地ニテ必要ナルガソ

リン三六五社一重油約四五〇社航空潤滑油二七社搭載ノ豫定

通一四六七一 呂一〇ケ七（三七二一）吳通

小原（塩田）

昭和廿年四月廿五日

1250



四 二三

作戰緊急



共

符

電一三五一四

符作本〇

1251

軍極秘

機密第二三二一五七番電

海護總電令作第四五五號

一、甲二十四日以後「B」飛行哨戒等三配備ニ於ケル哨區ヲ「ト」

「オ」ノ二哨區ニ改メ「ト」哨區ハ戊哨戒法「オ」哨區ハ指揮

官所定哨戒法トス

二、吳鎮護衛部隊ヲ指揮官ハ佐伯空水偵中夜間電探哨戒可能組約六機

ヲ指揮官ニ派遣シ佐鎮護衛部隊ヲ指揮官ハ指揮官ヲ承ケシムベシ

三、佐鎮護衛部隊ヲ指揮官ハ前號兵力ヲシテ主トシテ「ト」哨區哨戒

ニ從事セシムベシ。

通二九四六 二九四七 天二〇ケ八

(松山)

昭和廿年四月廿五日

人

四二四 受信一三三五 譯了一五五〇 電一三三〇九五 航作本〇

至急

支那方面艦隊口

海南警備府



東通・高通・二遣支艦隊口・一一根

機務第二三二二一五番電

三分ノ一、二

海南部隊戰團概報（四月二十三日）

一〇八五〇 P B 四 Y 一海南島南岸見張所方位測定所電波探信儀銃撃

一二三〇 P I 三八 一〇東方ヨリ榆林へ侵入續イテ B I 二四 一

六數梯團ニ分レ高度五〇〇〇米ニテ南東ヨリ榆林へ侵入一二五〇

ヨリ一三三〇迄ノ間ニ榆林内港ニ投弾南東ニ脱去セリ一三四〇 B

一二四 一機南陵水東方海岸陣地ヲ銃爆撃一五三〇 B I 二四

一機榆林港海上ニ投弾北西ニ脱去セリ

一四八五〇 呂一 B ケ七 (一四九三〇 K) 上海 奥山 (川崎) (一)

昭和廿年四月廿五日

1252

三 戦果被害

(イ) 戦果ナシ

ロ 被害機帆船三隻重油パイジ船二隻沈没（重油一五〇本流出）戦

死巡警一死亡苦力一 三亞灣方位測定所被銃撃若干ノ被害アリ

（一六〇〇應急修理完成）其ノ他陸上建物若干被害アルモ輕微

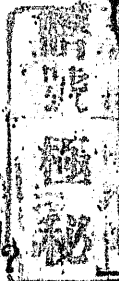
ナリ。

（電信課註） 本電三分ノ三未着）



四 二五 受信〇二〇八 譯了〇三二五 龍自一三三六一 作概〇
 至 始〇二四〇 至一三三六五 航本〇

支那方面艦隊
 東通・高路・二遣支艦隊
 海警部隊



機密第二三二二一八番電 六分、一三四五六

通報 次官 次長 高警

海南敵機來襲狀況(十一日以降二十日迄)

一 十七日清國... 〇 P B 機海口自一四五〇至一五二〇 五一

三〇機飛行場爆撃茨山 機燒死負傷下士官一名八所一六二 〇 B 二

四 一機海上空干投下彈 十二日海口〇〇機五〇二四 一機東海

岸〇二二七 B 二四 一機一一四八 B M

一 以下六分 三三四五六

一五一九九 一五二〇 天二〇ヶ六二四七〇五七〇(高)

一四八九七 一五一五九 村山(機)

昭和四年四月廿五日

1253

北黎一五四〇B二四 一機陸上ニ投彈十五日東海岸〇一二〇爆音

一一四〇B二四 一機三亞〇〇三〇及〇八三〇爆音一二〇〇P B

M一機一五〇〇P三八 一機海口一四五〇P三八 一機十六日三

亞一六三〇P三八 一機一八三〇及二三二〇B二四 一機八所一

七〇〇P三八 一機二三四〇B二四 一機海上ニ投彈十七日東海

岸一一三〇P B M一機八所一六五五B二四 一機民間工場爆撃職

死邦人三名三亞二〇三〇爆音十八日三亞一〇四〇及一一五〇B I

二四 一機一五四〇爆音二〇一三B I二四沈船附近投彈十九日北

東岸一三四三B I二四 二機艦隊四機一四三〇大型機一機銃録

同時刻不明機種機數 銃爆撃機帆船八隻沈没東岸一三五五B二四

一機偵察十八日黃流一二五〇B二四 一機偵察八所一六五〇B二

四 一機船舶以三亞南方一二五五P B M一機一三二〇B二四

一機一四〇五〇爆音二十日三亞南方海上二二二〇爆音北岸〇〇三〇

B二四一機〇一〇〇爆音一五B二四 一機下八所〇三二〇

及〇三二〇B二四 一機海上投彈一三二五B二四 一機海上投彈

東岸〇〇〇〇爆音北上二四〇〇P B I二四 一機海上投彈

一機偵察 本電六分ノ二未着

勝

通一四六九九 月一三ヶ七(四〇七五配)古守 村山(猪狩)

宛 大官 大要
通報 聯合艦隊 第十二航空艦隊各隊隊長
今大千島方面兵力増進作戰ハ防護及戦務上勝(カ子)作戰ト呼稱致度
慮然ルベク取計ヲ得度



機密第二四〇〇五六番電

廣	通	通	通	通	通	通	通
通	通	通	通	通	通	通	通
通	通	通	通	通	通	通	通
通	通	通	通	通	通	通	通
通	通	通	通	通	通	通	通
通	通	通	通	通	通	通	通
通	通	通	通	通	通	通	通
通	通	通	通	通	通	通	通

四二四 受信〇三二四七 譯始〇三一六六 丁〇三五一 電一二八八三 作 機〇

昭和五年四月廿四日

1254

作

四二四
受信〇二五九
開始〇四一〇

譯了〇五三五 電一二九〇六

作 概

昭和廿年四月廿五日

二三根戰團概報着信處所

機密第二四〇一一五番電

二十三時根戰團概報第六四號（四月二十三日）

一、一五一八敵B一二四、二機編隊逐次北方ヨリ侵入「マカツサル」上空

旋回後一五四四北東ニ去ル 海上投弾一 敵機ハ陸軍戰團機ノ追撃ヲ

受テ離陸機着陸中「マロス」ニ侵入セス

三、一六四八B一二四、四機北方ヨリ「マカツサル」侵入陸軍戰團機三機

ヲ以テ邀撃一七一〇北方ニ退 戦果、被害ナシ

四、一四七〇五 呂一Bケ七（六一二二二、五K）二一連 野木（吉井）

1255

人

至急

四二四

受信一六二五
始一六三九

譯了一七二二

電一三〇九七

作概

● ケンダリー航空基地



● 東部空襲部隊 戰
● 概報着信鑑所

機密第二四一〇三一番電

濠北航空隊 戰闘概報

二十三日一九三〇ヨリ二二

五〇

ノ間敵大型機一機宛「ケンダリ」及

「アンペシヤ」兩基地周邊分離行動「ケンダリ」三回「アンペシヤ」

二回上空ニ侵入セシモ「アンペシヤ」海岸附近ニ計三發投彈セシノミ

戦果被害ナシ

通一四九二二

呂一Bケ七

一八三六七

五X

二二通

與野(田中)

昭和十年四月廿五日

1257

Handwritten mark or signature in the top right corner.

二四 開始 一七〇三 一八九〇九 電一三三八〇 航作概本〇

● シヨホール空

● 南滿空・メナド航空基地・第二河和空



● 一三航空艦隊口

機密第二四一二三一委電

發 第十三航空艦隊

宛 際北空メナド派遣隊長

タバオ(第一第二「デゴス」)メナド(「ランゴア」)「マパンダ」

「アムラン」(「カンダ」)方面最近ノ飛行場現狀及滑走路使用情況(長井

囑候歴程度)夜設ノ有無至急通知ヲ得處。

通一四九〇三 呂一ヨラー一八(一七五九〇)C(一〇)通 池阪(志田)

昭和廿年四月廿五日

1258



至 急

四 二四 受信二二二六 譯始二二二〇

譯了二二四五

電 一三八四四 一三八四五

整 基

1260

昭和廿年四月廿六日

局長	局長	局長	局長	局長	局長
一等長	二等長	三等長	四等長	五等長	六等長
主任	副主任	庶務	秘書	技師	技士
技師	技士	技師	技士	技師	技士
技師	技士	技師	技士	技師	技士
技師	技士	技師	技士	技師	技士

七番電

三分ノ二三

發 五 A 參謀長

宛 佐領參謀長

通 報 佐世保施設部長

軍令部第一部長

航空本部總務部長

施設本部

總務部長

航空特攻(差當)十航空艦隊中隊(用秘密基地)シテ五月二十日概成ヲ
目途トシ岩川基地岩川街道牧ノ原ニ長サ七〇〇米幅六〇米ノ滑走路及中

五〇機分ノ秘匿所ヲ造成致展ニ付左ニ關シ然ルベク取計ヲ得度

電信課註 本電三分ノ二未着(以下三分ノ三)

一五〇七九 呂一Bケ七(三九三七五 KCKC) 一KFGB 放小森(新井)

二、岩川基地進出豫定ノ設營隊ノ進出期日ヲ促進ス
 三、各貨物自動車一〇台六地盤壓車四台自動車用「アルコール」三〇
 軒ヲ準備ス。

昭和廿年四月廿五日

四 二五 受信 〇〇二五四二 譯了 〇三三二 電自 一三三五八六 作航 〇

至 無 〇 一 〇 方 面 艦 隊 P 艦 隊

六 艦 隊 P

海上護衛總口・聯合艦隊口・一護衛艦隊口・一五潜水隊下・伊三五

機密第二四一八五九番電 三分ノ一、二、三

第六艦隊機密第二三二〇四七番電返

一 機雷情況

(1) 昭南主水路ノ秘氣機雷掃海ハ概テ完了シアルモ入港時ニハ水路作

業(ホトスバト燈臺ヨリ)並ニ前路掃海ヲ實施ス

(2) 指定海面防備圖表(昭和十九年四月調製)記載以外ニ敷設セル

味方機雷ナシ

二 敵機情況

通 一五五 一九八 五二六 呂一Bケ七(六二三五加)十通 田中(川崎)

伊藤

(イ) 〇一二九 (カルカッタ基地) 三月二日一一二五ヨリ一二二〇迄

約五五機軍港地區ニ投彈三月二十七日〇一三〇ヨリ〇三〇〇迄

約二〇機磁氣機雷投下三月二十九日〇二五四ヨリ〇三三〇迄約

二〇機商港方面投彈四月十二日ヨリ十六日迄連日一機一〇三〇

前後ニ偵察ヲ實施セルモ其ノ後飛來ヲ見ズ但シ本月明期間ニ磁

氣機雷ノ投下ヲ豫期セラル

(ロ) 〇一二四 (バラワン基地) 推定) 四月十五日以降連日一乃至二

機一〇〇〇乃至一四〇〇ノ間ニアナンバス諸島近海及マライ東

岸南部ヲ偵察小舟艇ヲモ徹底的ニ銃爆撃シツツアリ五月以降大

勢來襲ヲ豫想セラル

三 敵潛情況、ナツナ島アナンバス諸島方面二隻マライ東岸二乃至四

隻佛領印度支那南岸二隻カムラン沖二乃至三隻

四 機橋給油管狀況

(イ) 軍艦ニテ補給ノ場合沖積ニテ供給可能重油バト子誘導船五イン

〇イニテ補給ノ場合重油ハ岩壁一〇インニ航揮ハ三寶島機橋一

(ロ)

四
二二五
愛信〇三三
始〇五一七

了〇五一九
電一三四五一

附本〇



東通・佐通・吳通
官 崎 空 臺 地

密第二四一九五回番電

發 第三特攻隊司令官
宛 吳鐵參謀長

通報 軍務局長 施設本部長 吳施設部長 佐鐵參謀長
近日中ニ部隊進出スルニ付油港 坊ノ 土々呂 油島 業々各
基地壕内ノ點檢設備大至急完成方取計ハレ度。

通一五一四七

イカ M D () 佐通

甲田 (奈)

1263

昭和廿四年四月廿五日

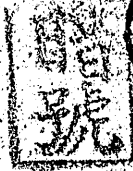
四 二五

受信開始〇〇八〇〇

了〇八三三

電自一三四一七

昭和廿年四月廿五日



● 二二根戰團概報着信監所

● 二二根サマリンダ派遣隊

二四一三〇一五

通報 離司令部 一〇一燃料廠長

第二警備隊戰團概報 四月二十四日 其ノ二、三、四

一〇九一〇P一三八 十一機B一三五 八機 主トシテ北西及北方

リ侵入P一三八ハ〇九三〇全機上空ヲ通過南及南西ヲ至ルB一三五

ハ二機乃至三機編隊ニテ燃料廠油田附近一帯「シユワタ」油田地帯

ヲ銃撃シ續キテ警備隊本部水警附近ヲ銃撃一〇二〇北東ニ擊退ス

三一一四八P三八 三機南西ヨリ侵入西方海岸線ニ沿ヒ一三〇〇北方

通一三二〇九一三二二六 協作(六一三三三三三三) 二二通 歳木、相澤、村山(森田)

1265

ニ去ル

三、一、二、一、三、P三八、二機B三四、一機南方ヨリ侵入東方海岸ヲ一、二、三

五、北方ニ去ル

四、一、三、六、五、P三八、四機北西ヨリ侵入第二機銃砲臺ヲ銃爆撃シ

「アマル」見張所附近ヲ銃撃一四二〇北京ニ墜退ス

三、戦果ナシ

六、最近P三八ノ襲撃法ヲ検討スルニ銃爆撃ト併行シテ油脂散布焼夷弾

或ハ補助燃料「タンク」等ヲ利用シ我ガ陣地諸施設ノ焼行ヲ盡策シ

アルモノノ如シ

被害 陸軍戦死兵一（串山部隊追及者）燃料廠原地人工員宿舍全壊三

(二)

四二五

受信開始〇〇一四〇八

關丁〇三三五

一三三六九

作稿

横防戦

共

符

1266



海上護衛總口・横領・天草。北三陸部隊。南三陸部隊
九〇三航空隊山田派遣隊。九〇三航空隊松島派遣隊

機密第二四二〇二五番電

三分ノ二

發 三陸部隊

三陸部隊戦闘概報第三號

二十三日〇九三〇天草ハ金華山燈臺ノ三二〇度二四、五裡ニ於テ明

瞭ナル反響音捕捉一〇一五第一回攻撃後湧出油紋ヲ發見一一三八第

二攻撃湧出増大油帶幅一〇〇米長サ四杆トナル推進器音聽知シ得ズ

一六四八第三回攻撃（累計二十個）後湧出益盛トナリ移動セス二十

四日〇十三〇油帶幅最大三〇〇米長サ三杆ニ亘リ響音ヲ聽取ス一〇

通一五一一八四

天二Bケ八（一六四〇）

横通 安彦、林（廷 田）(1)

三〇海三三號掃海艇現場搜索幅一〇〇米長サ四杆ノ油席ヲ認ム九九式
 掃海艇ニテ海底ニ約六米ノ突柱箇所ヲ確認
 一區信線註 本電三分ノ三未着

(2)

9

四二五 受信始 〇〇一〇五九 二六 詳了 一一四〇 電一四〇七四 作概

横防戦

共符



海上 設機線口・横濱・天章・北三陸部隊・南三陸部隊
九〇三航空隊山田派遣隊・九〇三航空隊松島派遣隊

機密第二四二〇二五番電 三分ノ三

南上ニ爆雷六個投下氣泡及油層涌出直徑四〇〇移動セズ反響音アルモ
音無シ攻位置敵潛ノ活動期間及掃三三局到ナル確認處置ノ成果並ニ現
地點表面又ハ盛沈敵潛無キ事實ニ徴シ天岸ノ攻區セシハ敵潛ニシテ盛沈
確實ト決定ス。

一通 一東通註 本電再送ノ爲遅延
一電信課註 本電誤字ノ爲遅延
一五七九 本電三分ノ一六四〇布
和 田 小 艦

1267

昭和廿年四月廿七日